

毎週日曜発行
2021 11/7

こども新聞 週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



みんな 子ども だった!?

20

みんなはピザが好きかな。今回、話を聞いたのはイル・ピッツァイオーロ(仙台市青葉区)店主でピザ職人の千葉壮彦さん(47)。本場イタリアのナポリピザ世界大会3位の實力の持ち主だよ。

◇ 登米市の錦織小、東和中の9年間は、剣道に明け暮れました。指導してくれた公民館の職員が鬼コーチで、厳しい練習でした。コーチとの掛け稽古は、5分でも息が切れるのに、やめとて言うまで打ち込み続けるんです。体力、精神力ともに

きょうのテーマ

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

千葉 壮彦さん(47歳・ピザ職人・イル・ピッツァイオーロ店主)



ちば・たけひこ 登米高卒(そつ)。2012年にナポリピザの世界大会「カプートカップ」3位。仙台市にあった仙台勝山館(しょうざんかん)のナポリピザ店を経(へ)て15年に独立(どくりつ)。



緩みがちになって最後の県中総体はベスト8止まり。剣道への情熱が冷めるとともに、警察官への思いもしほみました。

ピザを作る時、私は自分の感性を大事にしています。感じ方が他の人と違っても自分に自信を持って。個性は伸ばすと武器になります。

追い込まれ、稽古が終わると倒れ込んでしばらく動かせませんでした。小学校を卒業して鬼コーチと離れられると思ったら、中学のコーチに

就任し、厳しい指導は続きました。勉強は好きではなかったけど、定期試験が待ち遠しかった記憶があります。部活が休みになったからです。

剣道の厳しい練習 自信に

きつい練習の一方、剣道は好きでした。努力のかいあり、小中を通して個人戦や団体戦で好成績を収めました。トロフィーや盾をもらった時のうれしさは、ほかでは味わえません。中学2年の新人戦県大会は団体で準優勝でした。当時の夢は警察官。警察に入ったら好きな剣道を続けられると考えたからです。

3年の時に異動でコーチが部活を去りました。厳しい指導から解放され、部員一同、大会での達成感とは違いうれしさを感じました。ただ、練習は

社会は甘くないとよく言われますが、あのつらい練習に耐えたのだから、何でも乗り越えられるはずという自信があります。大人になり、ピザ職人の修業のため、言葉が分らず、知人もいないイタリアに単身渡った時も、そんな思いが支えになりました。鬼コーチの下で、必死に竹刀を振っていた日々は、目標の達成には努力が必要だということと、目標を達成した時の喜びを覚えてくれました。私の人間としての土台は少年時代、剣道によって作られたと思います。

今週の注目ニュース

◇7日(日) 立冬
一年を24に分けてそれぞれの季節を表す二十四節気の一つ。冬の始まりを指すよ。中国で考えられたもので今の日本の冬の訪れより少し早いけれど、朝晩の冷え込みが厳しくなるだけに体調管理に気を付けて。

きょうの紙面

- 2面 ポップ・ステップ・プログラミング
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 聞いて学べる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 子育て・教育相談コーナー